●購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名	電話（　）
購入年月日	年　月　日

●万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、右の内容をお知らせください。

形名＝（本体）CP-S860J
症状＝できるだけ詳しく
道順＝付近の目印も

株式会社 日立製作所 デジタルメディアシステム事業部

〒244−0817　神奈川県横浜市戸塚区吉田町292番地

電話（045）866-6305

QR41832

Printed in Japan KY-K (S)

HITACHI

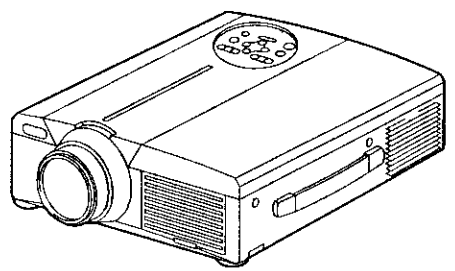
液晶プロジェクター

形名

CP-S860J

取扱説明書

このたびは、日立液晶プロジェクターをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



概要

本液晶プロジェクターは、各種のコンピュータ信号とNTSC/PAL/SECAM方式のビデオ信号をスクリーンに映し出せる投射型プロジェクターです。設置スペースをとらず、簡単に大画面が実現できます。

特長

(1) **高輝度**
UHBランプ、高効率光学系の採用による高輝度
(2) **部分拡大機能**
画面の強調したい部分の拡大が可能
(3) **台形歪み補正機能**
歪みのない画像をすばやく再現
(4) **電動ズーム、電動フォーカス**
(5) **P in P（picture in picture）機能**
(6) **USB端子**

もくじ

ページ

お使いになる前に……3
同梱品の確認……8
各部の名称と働き……8
設置……12
基本操作……13
調整と機能について……17
VIDEO信号入力端子への接続……22
RGB信号入力端子への接続……22
USB端子への接続……25
CONTROL信号端子への接続……26
システムアップ例……31
エアーフィルターのクリーニング……31
ランプについて……32
メッセージ一覧表……32
故障かな？と思ったら……33
仕様……34
保証とアフターサービスについて……35

お使いになる前に

＜ご使用の前に＞

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は警告（注意を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

安全上のご注意

⚠警告

■万一、異常が発生したとき

●**万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。**すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。

●**画面が映らない、音が出ない、変な音がするなどの故障状態で使用しないでください。**火災・感電の原因となります。
すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

●**万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。**そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■不安定な場所に置かないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■キャビネットを開けないでください

キャビネットは開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■改造しないでください。

本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■風呂場では使用しないでください

風呂場では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

■異物を入れないでください

●**本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。**火災・感電の原因となります。

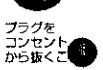
●**万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。**そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■点灯中はレンズをのぞかないでください

点灯している状態でレンズをのぞかないでください。強い光が投射されていますので視力障害などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■衝撃を与えないでください

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■液体の入った容器などを置かないでください

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■表示以外の電源で使用しないでください

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

■電源コードを大切に

●**電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。**また、重いものをのせたり、加熱したり、引っぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
・コードをひっぱる
・重い物の下敷き
・コードの破損
・熱器具のそば

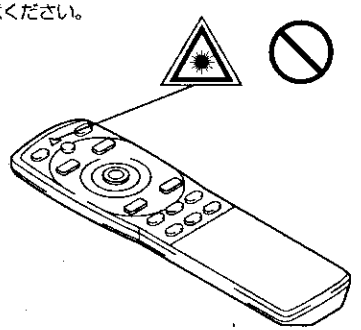
●**電源コードが本機の下敷きにならないようにご注意ください。**コードに傷がついて火災・感電の原因となります。コードの上を敷きものなどでおおうことにより、それに気づかないで重い物をのせてしまうことがあります。

●電源コードが傷んだら、(芯線の露出、切断など) 販売店に交換をご依頼ください。火災・感電の原因となります。

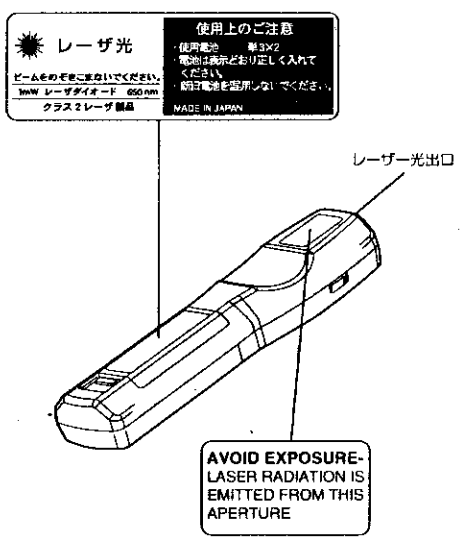
●電源プラグはホコリが付着していないことを確認し、ガタツキのないように、刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因となります。

■レーザー光を目にあてないでください

●このリモコンにはレーザーポインターが装着されていて、レーザー光出口からレーザービームがでます。レーザー光出口を直接のぞきこんだり、他の人にレーザービームをあてたりしないでください。
レーザービームが目にあたると視力障害などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



■点灯中は高温になるためレンズの前に物を置かないで下さい。



⚠注意

■乗ったり、重いものを置いたりしないでください

●**本機に乗らないでください。**特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

●**本機の上に重い物を置かないでください。**バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■通風孔をふさがないでください

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。本機を横倒しにする。風通しの悪い狭いところに押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。また、本機を設置する場合は、通風孔が壁から10cm以上離れるように、間隔を置いて据え付けてください。

■お手入れのときは

プラグをコンセントから抜くこと

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■電池の使用は

●**本機で指定されていない電池は使用しないでください。**また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

●**電池を機器内に挿入する場合、極性表示⊕プラスと⊖マイナスの向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。**間違えますと電池の破裂、液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。

■2年に一度は内部のお掃除を

2年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。

■湿気やほこりの多いところに置かないでください

●**湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**火災・感電の原因となることがあります。

●**調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。**火災・感電の原因となることがあります。

■キャスター（車）止めをしてください

キャスター付きの台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■電源コードを粗雑に扱わないでください

●**電源コードを熱器具に近付けないでください。**コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●**濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**感電の原因となることがあります。

●**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

■長時間ご使用にならないとき

プラグをコンセントから抜くこと

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、レンズに傷がつかないようレンズカバーを閉じてください。

■持ち運ぶときのご注意

プラグをコンセントから抜くこと

●移動させる場合は、レンズカバーを閉じ、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
また衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。

●屋外での移動時、雨などにより本機に水滴が付着しないようにしてください。水滴が付着した場合には、よく乾燥させてからご使用ください。水滴が付着したまま使用しますと火災・感電の原因となることがあります。

一般的なご注意

■高温になるところに置かないでください

屋上や直接日光が当たる場所やストーブのような熱器具の近くに置くと、キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

■音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。

■レンズのお手入れ

レンズの清掃は、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネなどの清掃に使用）で行ってください。レンズを固いもので傷つけたりしないようご注意ください。

■キャビネットのお手入れ

●キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはがれることがありますので避けてください。

●化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。

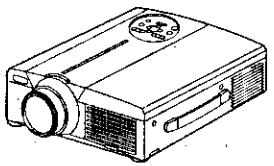
●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは洗剤を直接本機にかけないで、水にうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

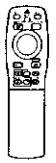
■長時間ご覧になるとき

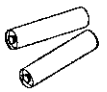
長時間ご覧になるときは、目を疲れさせないためにも、ときどき目を休めてください。

同梱品の確認

箱の中に、次のものが同梱されているかご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。


プロジェクター本体


リモコン送信機

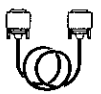

リモコン用乾電池

取扱説明書(本書)、保証書

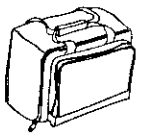
電源コード

Audio/Video ケーブル

RGB ケーブル


RS232C ケーブル

マウスケーブル (PS/2)


ソフトキャリングバック

各部の名称と働き

本体

ZOOMボタン
画面の大きさを調整します。
(参照ページ13)

MUTEボタン
音声をON/OFFします。
(消音時に再度押すと解除します。)

STANDBY / ONボタン
このボタンを押して電源の入/切をします。
切りのときは、スタンバイ状態になります。
詳しくは、13、14ページをご覧ください。

LAMPインジケーター
ランプがつかないときに、点灯または点滅します。
詳しくは、33ページをご覧ください。

POWERインジケーター
スタンバイ状態および動作時に、点滅または点灯します。
詳しくは33ページをご覧ください。

FOCUSボタン
画面のフォーカスを調節します。(参照ページ13)

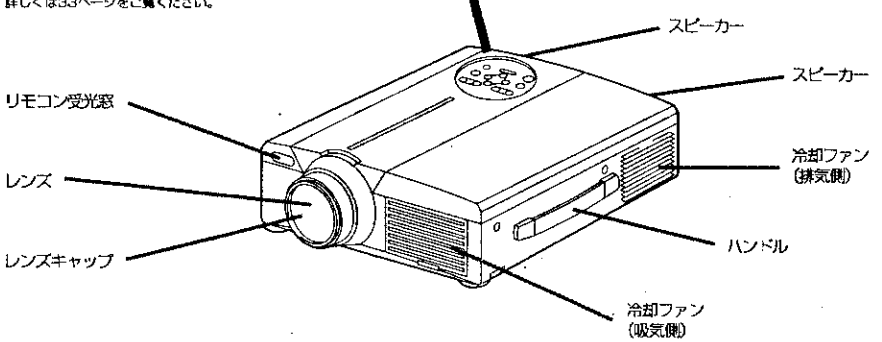
INPUTボタン
入力を切換えるときに、このボタンを押します。
ボタンを押すごとに、下図のように切換わります。

RGB1 → RGB2 → VIDEO

MENUボタン
映像等の調整を行います。
詳しくは17ページから21ページをご覧ください。

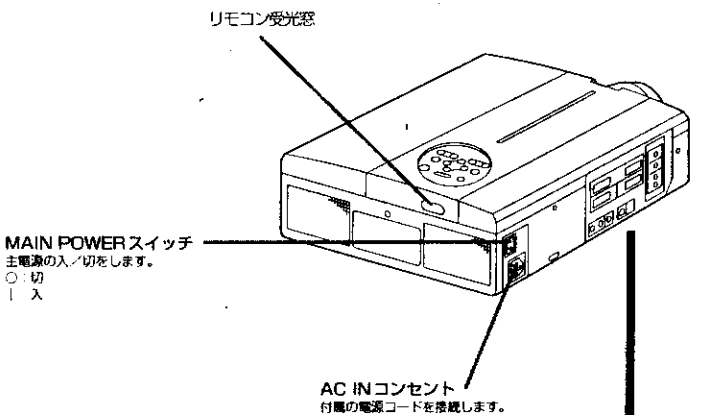
RESETボタン
初期設定にもどします。
詳しくは、17ページをご覧ください。

TEMPインジケーター
プロジェクター内部の温度上昇やファンの異常時に、点灯または点滅します。
詳しくは33ページをご覧ください。

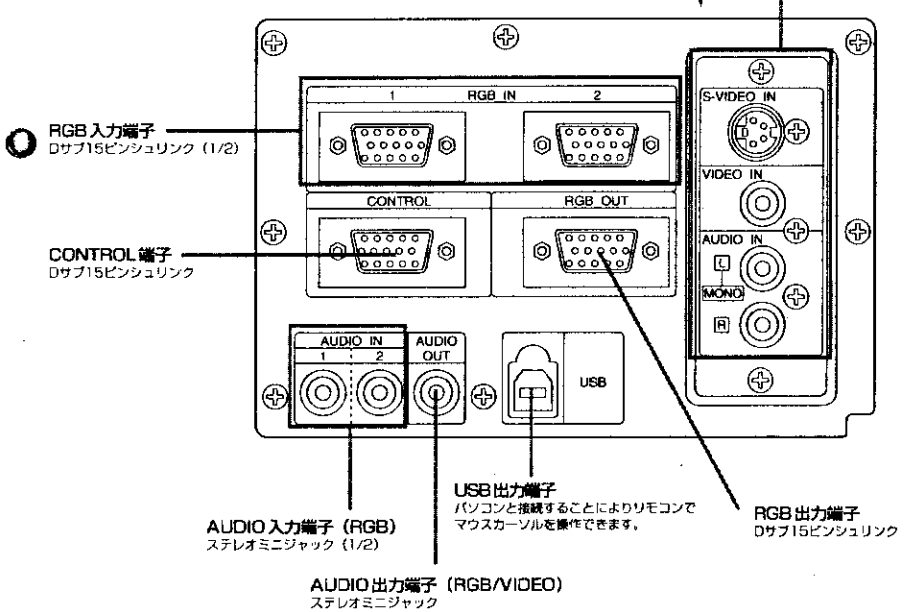


●リモコンは、本体のリモコン受光窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

各部の名称と働き（つづき）



⚠警告 AC INコンセント接続上のご注意
付属の電源コードをAC INコンセントの根本まで確実に差し込んでください。接続が不完全な状態で動作させると感電や火災の原因になることがあります。



各部の名称と働き（つづき）

リモコン送信機

VIDEO, RGB ボタン
入力を切換えるときに、このボタンを押します。
(P.13、19参照)

STANDBY / ON ボタン
電源の入／切をします。
電源入の状態で1秒以上連続押し続けると切（スタンバイ）状態になります。
(P.13、14参照)

★ DISK PAD
①メニュー画面を表示している場合、メニュー選択機能となります。(P.16～18参照)
②メニュー画面を表示していない場合、マウスカーソルの移動機能およびマウス左クリック機能となります。
*1 ③POSITION ボタンを押した後では、画面を上下左右に動かす事ができます。

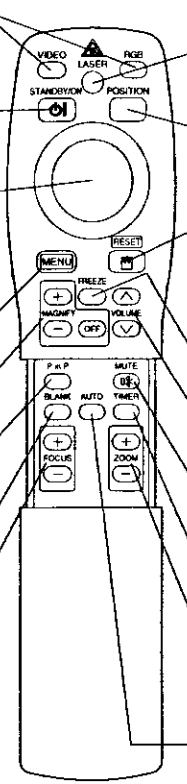
★ MENU ボタン
メニュー画面表示をON / OFFします。
(P.17～21参照)

★ MAGNIFY ボタン
表示画像を部分拡大します。

★ P in P ボタン *2
P in P（ピクチャーインピクチャー：RGB信号にVIDEO信号の子画面を表示します）のON / OFFを行います。
ボタンを押すごとに①子画面小→②子画面大→③offと順回します。（①～③）

BLANK ボタン
ブランキングのON / OFFをします。
(P.20参照)

FOCUS ボタン
画面のフォーカスを調節します。
(P.13参照)



LASER ボタン
レーザー光線をだし、指し棒の代わりに使用できます。
使用にさいしては P.11 をお読みいただき、注意書にしたがってください。

★ POSITION ボタン
このボタンを押した後ディスクパットの上下左右を押すとそれに従い上下左右に動きます。
(RGB信号選択時のみ有効)

★ RESET　MOUSE / RIGHT ボタン
①メニュー画面を表示している場合は、RESETボタンとなり、このボタンを押すと、初期設定に戻ります。
②メニュー画面を表示していない場合は、マウス操作の右クリックの機能となります。(P.25、26参照)
*1 ③POSITIONで画面をスクロールした後で押すと、画面が元の位置に戻ります。

★ FREEZE ボタン
静止画表示のON/OFFを行います。

★ VOLUME ボタン
音量を調節します。'^'を押すと音が大きくなり、'v'を押すと小さくなります。

★ MUTE ボタン
ミュート（消音）します。（ミュート時に再度ボタンを押すと解除します。）

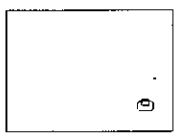
★ TIMER ボタン
メニュー画面上のTIMERで設定した時間表示をON / OFFします。
ブランキング時、フリーズ時、入力映像信号が無い時、入力映像信号が同期範囲外のときはTIMERは表示されません。
タイマーの設定方法は、20、21ページをお読みください。

ZOOM ボタン
画面の大きさを調節します。(P.13参照)

★ AUTO ボタン
オートアジャストを実行します。*3

★ 入力映像信号がない時、または同期範囲外の時は操作できません。

***1 POSITIONのアイコン**
POSITIONボタンを押すと、画面の右下に移動表示のアイコンが現れます。
アイコンが現れている間はディスクパッドで画面を動かすことができます。



***3 オートアジャスト機能**
プロジェクターが4つの項目（V.POSIT、H.POSIT、H.PHASE、H.SIZE）の調整を自動的に行います。

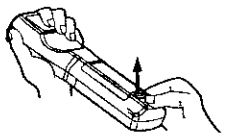
ご注意
- ●オートアジャストは、10数秒時間がかかります。
- ●オートアジャストは、接続されているコンピュータや信号の種類により、正常に動作しない場合があります。
- ●オートアジャストは、画面の内容により、正常に動作しない場合があります。動画や暗い画像では実行しないでください。
- ●オートアジャストは、コンピュータで実行中のアプリケーションを最大表示した状態で実行してください。
- ●初期画面表示（"NO INPUT IS DETECTED" または "SYNC IS OUT OF RANGE"）中は実行できません。

*2
P in P機能は、RGB、VIDEOの両方に信号が入力されており、RGB信号を選択しているときのみ動作します。（どちらかが無信号の場合やRGB信号が同期範囲外の場合は表示できません。）
またP in P時には、音声は自動的にVideoに切替わります。
P in P中の音声入力の切替は、リモコンのVOL. ^、VOL. v キーを押して音声のバーを表示し、音声バー表示中にDisk PADを左右に操作することで可能です。

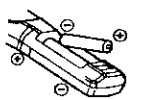
各部の名称と働き（つづき）

乾電池の入れかた 付属の単3形乾電池をリモコンに入れます

1 電池ぶたをはずします
電池ぶたのノブを押したまま上に持ち上げます。



2 乾電池を入れます。
必ず⊕、⊖ の表示に合わせてください。

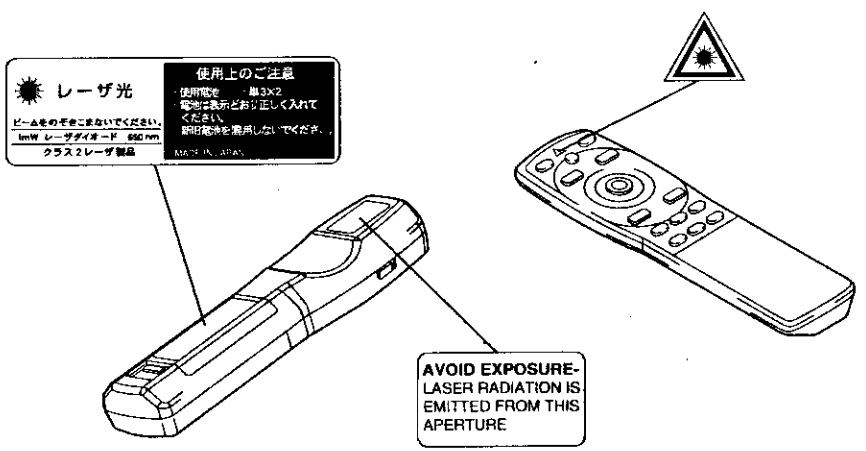


3 電池ぶたを閉めます

⚠注意 乾電池の使用上のご注意
- ●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- ●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示通り正しくいれてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

ご注意 リモコンの使用上のご注意
- ●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- ●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- ●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- ●リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- ●リモコンを本機の冷却ファンの近くに置かないでください。
- ●リモコン故障時は解体せずに、サービスステーションへ持ち込んで下さい。

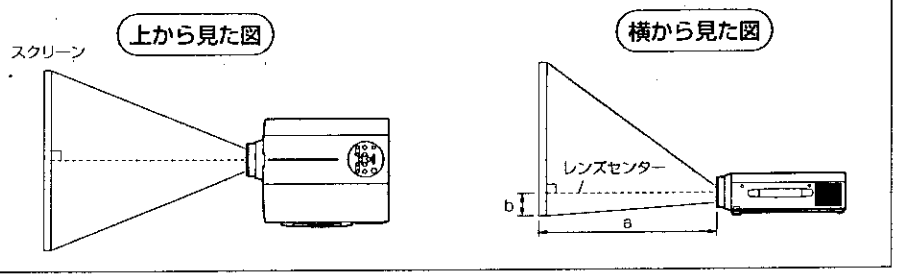
⚠警告 リモコンのレーザーポインターは指し棒の代わりに使用するものです。レーザー光線を直接のぞき込んだり、他の人にレーザービームをあてたりしないでください。レーザービームが目にあたると視力障害などの原因となります。



設置

液晶プロジェクターとスクリーンの設置例

下図を参考に画面サイズと投映距離を決めてください。



スクリーンサイズ	a		b
	最小	最大	
40インチ	1.4m	1.9m	3cm
60インチ	2.2m	2.9m	4cm
80インチ	2.9m	3.8m	6cm
100インチ	3.7m	4.9m	7cm
120インチ	4.5m	5.9m	9cm
150インチ	5.6m	7.2m	11cm
200インチ	7.4m	9.8m	15cm

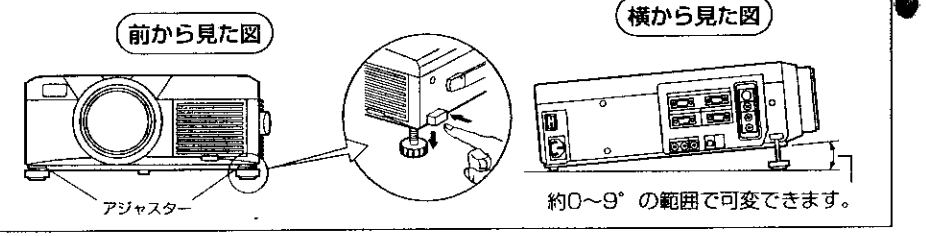
a：液晶プロジェクターからスクリーンまでの距離
b：レンズセンターから画面下までの長さ（a,b公差±10%）

ご注意
基本的に液晶プロジェクターは水平で御使用下さい。（足を上向きにするのは大丈夫です。）
横向き、レンズの上向き、下向きの御使用はセット内の温度を高め、故障の原因となります。

左表の投映距離（a）はフルサイズ（800×600ドット）の時での寸法を表わします。

アジャスターの使い方

底部のアジャスターを利用して、投映角度を調整してください。

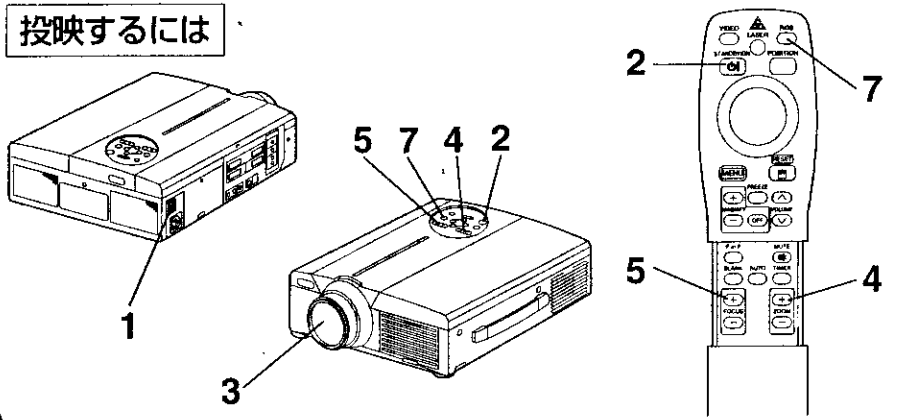


1．本機を持ち上げ、アジャスターのロックをはずします。
2．投映角度を調節したら、アジャスターを確実にロックしてください。
3．微妙な調節は、アジャスターを回してください。

⚠注意
- 本機を保持していない状態では、ロックを解除しないでください。壊れたり、指をはさむなど、けがの原因となることがあります。
- アジャスターを無理に回さないでください。アジャスターが壊れ、ロックがかからなくなることがあります。
- ロックは確実に行ってください。ロックしにくいときは、少し角度を変えてロックしてください。

基本操作

投映するには



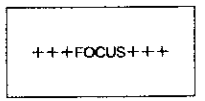
1 本体のMAIN POWERスイッチを入れる[I：ON]
- POWERインジケーターがオレンジ色に点灯します。

2 STANDBY/ONボタンを押す
- POWERインジケーターが緑色の点滅から、緑色の点灯になります。
- 緑色の点滅は、ウォームアップ中を示します。
- 電源を切った後、約1分間は次の点灯に備え、ランプを冷却していますのでSTAND BY/ONボタンを押しても電源は入りません。

3 レンズキャップを外す

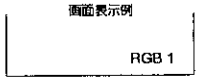
4 ZOOMボタンで画面サイズを調節する

5 FOCUSボタンで、フォーカスを合わせる
(1) FOCUSボタンを押すと、右の画面表示がでます。
(2) FOCUSボタンで、映像がはっきりするところに合わせます。
(3) 他のボタンを押すとFOCUSの文字が消えます。
(入力映像信号が無い時や同期範囲外の信号が入力されている場合はFOCUSの文字は表示されません。)

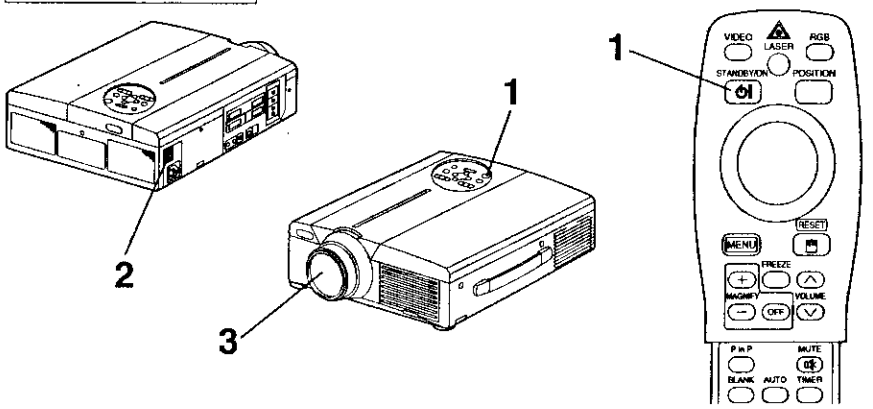


6 接続機器の電源を入れる
他の機器との接続は、31ページを参照してください。

7 本体のINPUTボタンまたは、リモコン送信機のVIDEO,RGBボタンを押して、スクリーンに映したい信号を選ぶ
- 画面右下部に、選択されている信号入力チャンネルを3秒間表示します。



電源を切るには



1 STANDBY/ONボタンを1秒間押す

●POWERインジケーターがオレンジ色の点滅になり、ランプが消えます。その後（約1分後）ファンが止まりオレンジ色の点灯になります。

●電源を切った後、約1分間は次の点灯に備え、ランプを冷却していますのでSTANDBY/ONボタンを押しても電源は入りません。

●STANDBY/ONボタンを押している時間が短い場合は、スタンバイ状態にはなりません。

2 本体のMAIN POWERスイッチを切る[○：OFF]

3 レンズキャップを取り付ける

ご注意 ●プロジェクター内の温度を下げるため、STANDBY/ONボタンを押した後、約1分間はファンが回っています。

●ランプ点灯中にメインスイッチの電源を切らないでください。ランプの寿命が短くなります。

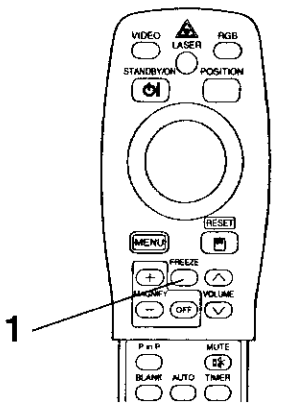
プラグ&プレイ

本機はVESA DDC 1/2Bに対応しています。VESA DDC（Display Data Channel）対応のコンピュータに接続して使用すると、プラグ&プレイを実現できます。
（プラグ&プレイは、コンピュータと、ディスプレイを含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。）

ご注意 プラグ&プレイでご使用の場合は、同梱品のRGBケーブルをお使いください。
他のケーブルでは⑫−⑮ピンが接続されない場合があります。
（RGB1のみ有効です）

フリーズ機能

表示映像を静止（フリーズ）させて表示することができます。
（参照ページ10）



1 FREEZEボタンを押す

●表示画像が静止します。

●フリーズ機能ON時は、画面右下に ❚❚ マークが表示されます。（機能中は消えません）

フリーズを解除するには

1 FREEZEボタンを押す

●フリーズ機能が解除されます。

●フリーズ機能解除時は、画面下に ▶ マークが約3秒間表示されます。

ご注意 ●入力信号が無い時、入力信号が同期範囲外の場合はフリーズ機能は無効です。

●FREEZEボタンを押すたびにフリーズ機能のON/OFFが交互に動作します。

●入力切換ボタンを押したとき、または表示しているPCの表示モードが切り換わったときは、フリーズは解除されます。

●静止画の信号を入力し、フリーズ機能をONにした場合には、フリーズ機能の解除をお忘れにならないようにご注意願います。

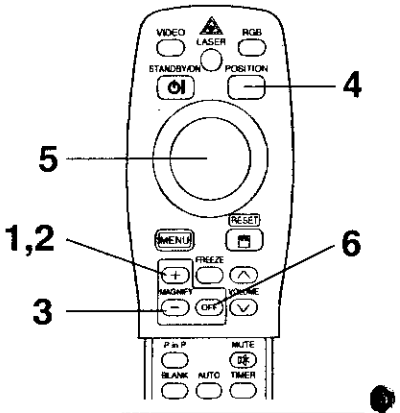
●フリーズ中に以下の操作を行うと解除されます。

- メニュー表示ON
- Magnify
- VOLUME ∧, ∨
- BLANK
- P in P
- POSITION
- FOCUS +, -
- AUTO
- MUTE

基本操作（つづき）

拡大機能

表示映像を部分拡大させて表示することができます。
（参照ページ10）



1 MAGNIFY ＋ ボタンを押す
●映像の中心部を約2倍に部分拡大表示します。

拡大倍率をかえるには

2 MAGNIFY ＋ ボタンを押す
●ボタンを押すとより大きく拡大表示します。

3 MAGNIFY － ボタンを押す
●ボタンを押すとより小さく拡大表示します。

表示エリアを移動するには

4 POSITIONボタンを押す

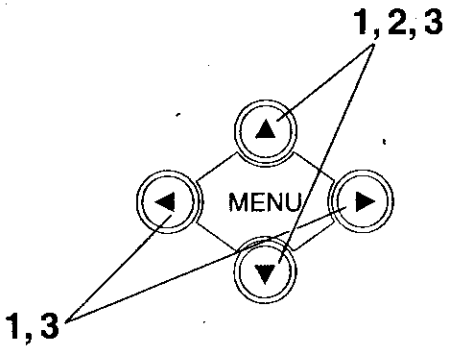
5 DISK PADボタンを上下左右に押す。
●押す方向に拡大表示エリアが移動します。

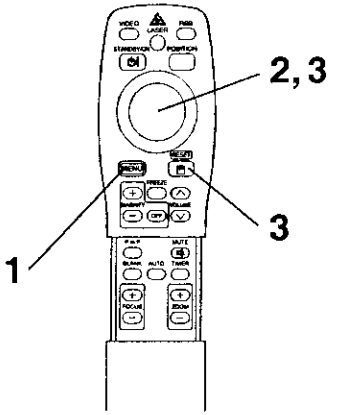
通常の表示に戻すには

6 MAGNIFY OFFボタンを押す

ご注意
- ●入力映像信号が無い時、入力映像信号が同期範囲外の場合にはMagnifyは無効です。
- ●入力切換ボタンを押したとき、または表示しているPCの表示モードが切り換わったときは、拡大機能は解除されます。
- ●拡大表示は、以下の操作を行うと解除されます。
  - ・メニューON
  - ・MUTE
  - ・FOCUS
  - ・BLANK
  - ・P in P
  - ・FREEZE
  - ・VOLUME ∧, ∨
  - ・AUTO

調整と機能について





1 本体のMENU（▲▼◀▶）ボタンまたはリモコン送信機のMENUボタンを押す
●メニュー画面を表示します。（詳細は18～21Pを参照）

2 本体のMENU（▲▼◀▶）ボタンまたはリモコン送信機のDISK PADボタンで、調節したいメニュー項目を選ぶ
●オレンジ色で表示しているメニュー項目が選択されています。

3 本体のMENU（▲▼◀▶）ボタンまたはリモコン送信機のDISK PADボタンで、選択した項目を調節する
●オレンジ色で表示している調節項目が選択されています。
5～10秒経過するとメニューが消えます。

初期設定に戻すには

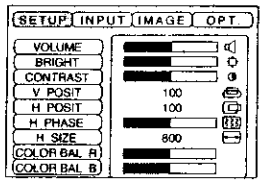
●初期設定に戻したい調節項目を選びます。
●RESETボタンを押します。

調整と機能について（つづき）

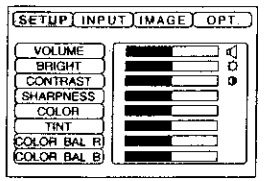
SET UP

SET UPメニューでは、映像の調節や画像の表示位置の調節ができます。

RGB信号入力



VIDEO信号入力



調節項目	調節内容
VOLUME	音量が小さくなる ←→ 音量が大きくなる
BRIGHT (BRIGHTNESS)	暗くなる ←→ 明るくなる
CONTRAST	コントラストが弱くなる ←→ コントラストが強くなる
SHARPNESS	やわらかな画質になる ←→ くっきりとした画質になる
COLOR	色が淡くなる ←→ 色が濃くなる
TINT	赤っぽくなる ←→ 緑っぽくなる
V. POSIT (V. POSITION)	画像を上下に移動する
H. POSIT (H. POSITION)	画像を左右に移動する
H. PHASE	チラツキが無くなるように調節する
H. SIZE	画像水平サイズを調節する
COLOR BAL R (COLOR BALANCE Red)	赤 薄くなる ←→ 赤 濃くなる
COLOR BAL B (COLOR BALANCE Blue)	青 薄くなる ←→ 青 濃くなる

SET UPメニューの操作方法

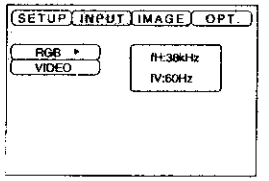
カーソルを調整したい項目に移動し、本体のMENUボタンまたはリモコンのDISK PADボタンを左右に操作して、バー表示の長さを変化させて調整します。

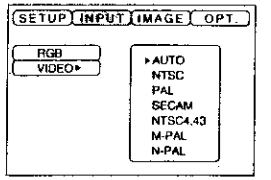
ご注意
- ●初期画面（"NO INPUT IS DETECTED"、または "SYNC IS OUT OF RANGE"）が表示されている間はメニューの表示はできません。
- ●PAL,SECAM方式のVIDEO信号入力の場合、TINTは調節できません。
- ●RGB信号入力の場合、TINT, COLOR, SHARPNESSは調節できません。
- ●VIDEO信号入力の場合、V.POSIT, H.POSIT, H.PHASE, H.SIZEは調節できません。
- ●マグニファイ中、フリーズ中のメニュー操作はできません。
- ●メニューを表示するとマグニファイおよびフリーズは解除されます。

調整と機能について（つづき）

INPUT

INPUTメニューでは、RGB信号の同期信号の周波数のモニターとVIDEO信号の方式選択ができます。

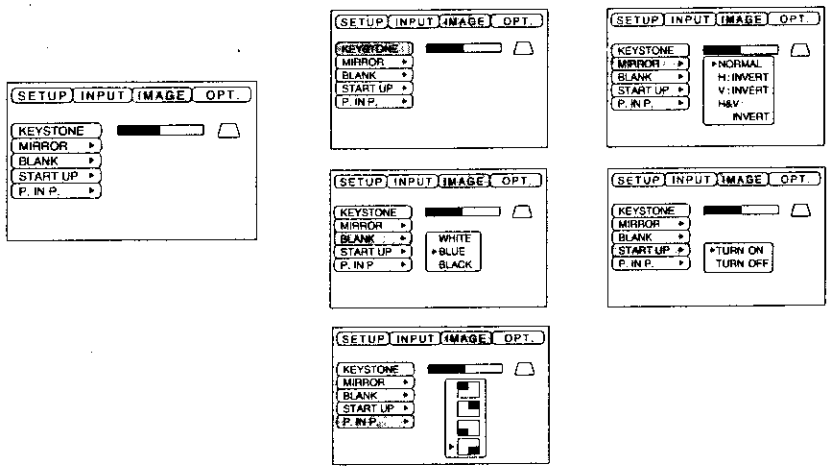




調節項目	調節内容
RGB	RGB入力の fH（水平同期周波数） fV（垂直同期周波数） を表示します
VIDEO	ビデオ信号方式を設定します。 画面が不安定の時（色がつかない、同期が乱れる等）は、入力信号に合ったモードを強制的に選んでください。

IMAGE

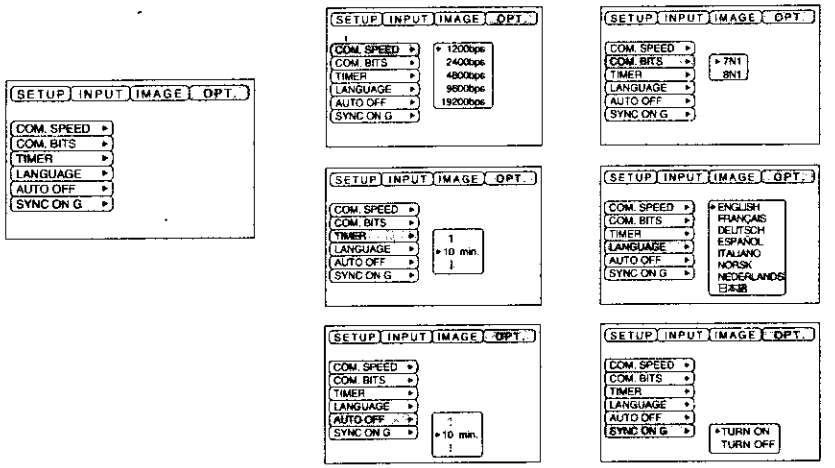
IMAGEメニューでは、投映映像の反転などの設定ができます。



調節項目	調節内容
KEYSTONE	台形歪み 下側縮小 ⟷ 台形歪み 上側縮小
MIRROR	投映映像の左右反転、上下反転を設定します。 H: INVERT 左右反転のみ V: INVERT 上下反転のみ H & V : INVERT 左右および上下反転
BLANK	BLANK ON時および無信号時のブランキングする色を設定します。 無信号時には5分でブランキングがかかります。
START UP	電源投入時の信号入力時の初期設定画面を設定／解除します。 解除時は、前記の場合ブルーバックとなります。
P in P	P in Pの子画面表示位置を切り替えます。

OPT

OPTメニューでは、通信機能などの設定を行います。



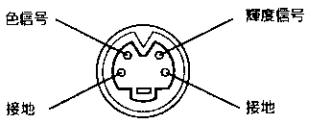
調節項目	調節内容
COM. SPEED	通信の伝送速度を設定します。(5種類)
COM. BITS	通信データのビット構成を設定します。 7N1…7 data bits, No parity, 1 stop bit. 8N1…8 data bits, No parity, 1 stop bit.
TIMER	タイマー表示の時間を設定します。(0~99) 分
LANGUAGE	メニュー画面の言語を選択します。 (英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ノルウェー語、オランダ語、日本語)
AUTO OFF	入力信号が無くなってからパワーOFF (スタンバイ状態) するまでの時間を設定します。設定時間：“1~99分”、“0” ：設定なし
SYNC ON G	SYNC ON GのON/OFF設定を行います。

VIDEO信号入力端子への接続

1．入力信号

S-VIDEO信号		輝度信号　1.0Vp-p、75 Ω終端 色信号　0.286Vp-p（バースト信号）、75 Ω終端
VIDEO信号		1.0Vp-p、75 Ω終端
音声信号	入力信号	200mVrms、20k Ω以下（Max3.0 Vp-p）
	出力信号	0～200mVrms、1k Ω

2．信号入力端子



S VIDEO入力（ミニDIN 4ピン）

ご注意　VIDEO信号入力端子は、次の順で優先します。
①S-VIDEO入力端子　②RCAジャック入力端子
VIDEO信号投映時の音声出力端子（RGB/VIDEO）には、VIDEO入力された音声が出力されます。

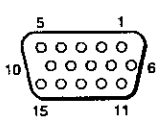
RGB信号入力端子への接続

1．入力信号

映像信号		アナログ　0.7Vp-p　75 Ω終端（正極性）
水平同期信号		TTLレベル（正極性／負極性）
垂直同期信号		TTLレベル（正極性／負極性）
複合同期信号		TTLレベル
音声信号	入力信号	200mVrms、20k Ω以下（Max3.0Vp-p）
	出力信号	0～200mVrms、1k Ω

2．信号入力端子

1	映像入力（赤）	9	N.C
2	映像入力（緑）	10	接地
3	映像入力（青）	11	N.C
4	N.C	12	DDC端子（DisplayDataChannel）
5	N.C	13	水平同期信号／複合同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC端子（DisplayDataChannel）
8	接地（青用）		



Dサブ15ピン
シュリンク端子

RGB信号入力端子への接続（つづき）

3．コンピュータの信号例

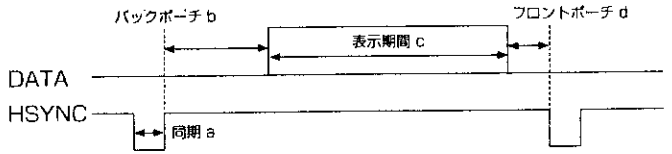
解像度 HXV	fH (kHz)	fV (Hz)	規格	信号モード	表示モード
640 X 400	24.8	56.4		NEC PC9800	拡大
640 X 350	37.9	85.1	VESA	VGA-1	拡大
640 X 400	37.9	85.1	VESA	VGA-2	拡大
720 X 400	37.9	85.0	VESA	TEXT	拡大
640 X 480	31.5	59.9	VESA	VGA-3	拡大
640 X 480	35.0	66.7		Mac13"mode	拡大
640 X 480	37.9	72.8	VESA	VGA-3(72Hz)	拡大
640 X 480	37.5	75.0	VESA	VGA-3(75Hz)	拡大
640 X 480	43.3	85.0	VESA	VGA-3(85Hz)	拡大
800 X 600	35.2	56.3	VESA	SVGA(56Hz)	
800 X 600	37.9	60.3	VESA	SVGA(60Hz)	
800 X 600	48.1	72.2	VESA	SVGA(72Hz)	
800 X 600	46.9	75.0	VESA	SVGA(75Hz)	
800 X 600	53.7	85.1	VESA	SVGA(85Hz)	
832 X 624	49.7	74.5		Mac16"mode	縮小
1024 X 768	48.4	60.0	VESA	XGA(60Hz)	縮小
1024 X 768	56.5	70.1	VESA	XGA(70Hz)	縮小
1024 X 768	60.0	75.0	VESA	XGA(75Hz)	縮小

ご注意
- コンピュータは、機種によって複数の表示画面モードを持っているものがあります。この中には、本機では対応できないモードがあります。
- 本機とコンピュータを接続する場合、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度などの適合性をご確認ください。
- 入力信号によってはフルサイズで表示しないものがあります。上の表示画素数を参照してください。

RGB信号入力端子への接続（つづき）

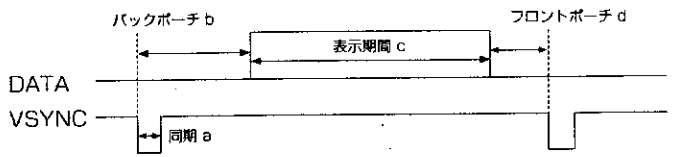
4. 初期設定信号

信号として下記の信号を初期設定しています。
コンピュータ機種によっては、信号タイミングが異なることがあります。そのときは17,18ページMENUのV. POSIT、H. POSIT等を参照して調節してください。



コンピュータ/信号源	水平信号タイミング（μs）			
	a	b	c	d
VGA-1(85Hz)	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA-2(85Hz)	2.0	3.0	20.3	1.0
PC-9800	3.0	3.8	30.4	3.0
TEXT	2.0	3.0	20.3	1.0
VGA-3	3.8	1.9	25.4	0.6
Mac 13"mode	2.1	3.2	21.2	2.1
VGA-3(72Hz)	1.3	3.8	20.3	1.0
VGA-3(75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
VGA-3(85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
SVGA(56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA(60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0

コンピュータ/信号源	水平信号タイミング（μs）			
	a	b	c	d
SVGA(72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1
SVGA(75Hz)	1.6	3.2	16.2	0.3
SVGA(85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16"mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA(60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA(70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA(75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2

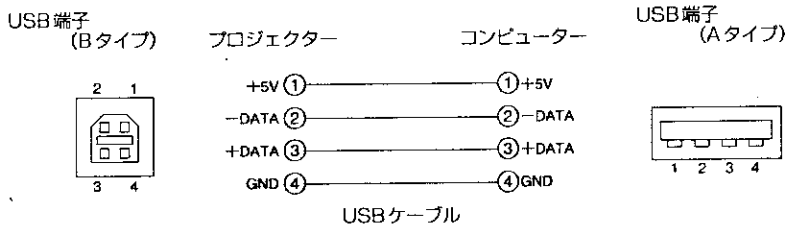


コンピュータ/信号源	垂直信号タイミング（ライン数）			
	a	b	c	d
VGA-1(85Hz)	3	60	350	32
VGA-2(85Hz)	3	41	400	1
PC-9800	8	25	400	7
TEXT	3	42	480	1
VGA-3	2	33	480	10
Mac 13"mode	3	39	480	3
VGA-3(72Hz)	3	28	480	9
VGA-3(75Hz)	3	16	480	1
VGA-3(85Hz)	3	25	480	1
SVGA(56Hz)	2	22	600	1
SVGA(60Hz)	4	23	600	1

コンピュータ/信号源	垂直信号タイミング（ライン数）			
	a	b	c	d
SVGA(72Hz)	6	23	600	37
SVGA(75Hz)	3	21	600	1
SVGA(85Hz)	3	27	600	1
Mac 16"mode	3	39	624	1
XGA(60Hz)	6	29	768	3
XGA(70Hz)	6	29	768	3
XGA(75Hz)	3	28	768	1

USB端子への接続

(1) プロジェクターとコンピュータ間を別売りの適合したケーブルで接続します。
(2) 本体のINPUTボタンまたは、リモコン送信機のRGBボタンを押してコンピュータが接続されている入力を選びます。
(3) マウス機能を開始します。
(4) リモコンによるマウス操作は10、26ページを参照下さい。
(5) DISK PADボタンを押す力によってマウスの動作スピードが変わります。



ご注意
- ●接続する前に、接続する機器の取扱説明書をよくご覧下さい。
- ●接続には、別売のUSBケーブルを使用して下さい。
- ●USBでマウス操作する場合のみ有効です。
- ●パソコン以外の機器には使用しないで下さい。
- ●Windows 95で、ご使用の際はバージョンOSR2.1以上でUSB使用可能に設定する必要があります。又、ホストコントローラの種類または、バージョンにより動作しない場合があります。
- ●トラックボールなどのポインティングデバイスを内蔵するノートタイプのコンピュータでは、外部マウスに設定しても、内蔵ポインティングデバイスが優先され、外部マウスが選択されない場合があります。
  この場合は、内蔵ポインティングデバイスを無効とし、外部マウスを選択するように、BIOSの設定（システムのセットアップ）を変更してください。
  BIOSの設定を変更した後、上記の（1）～（3）の操作を行ってください。
  BIOSの設定については、コンピュータのハードウェアマニュアルをご参照ください。

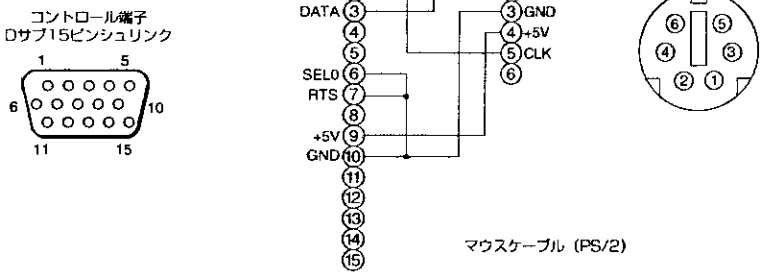
また、コンピュータによってはユーティリティープログラムが無いとマウスが動かない機種があります。
コンピュータのハードウェアマニュアルをご参照下さい。

CONTROL信号端子への接続

1. マウス機能

(1) プロジェクターとコンピュータのMAIN POWERスイッチをOFF（切）にして、付属または別売りの適合したケーブルで接続します。USBケーブルはプロジェクターから抜いて下さい。
(2) プロジェクターのメイン電源を入れます。（オンインジケータランプが緑に点灯します）
(3) 本体のINPUTボタンまたは、リモコン送信機のRGBボタンを押して、コンピュータが接続されている入力を選びます。
(4) コンピュータの電源を入れます。
(5) マウス機能を開始します。
もしマウス機能が開始されない場合はコンピュータをリセットしてください（ソフトリセットかリセットスイッチ）
(6) リモコンでの操作については10ページをお読みください。
(7) DISK PADボタンを押す力によってマウスの動作スピードが変わります。

PS/2マウス



マウスケーブル（PS/2）

付属のマウスケーブルはPS/2マウス用（IBM及び互換機用）です。
ADBマウス用（アップル）、BUSマウス用（NEC）及びシリアルマウス用の接続ケーブルは別売となります。

マウスケーブル	品名	型式
ADBマウス用	COE-MAC(ADB)-2	SC-MA201XC
BUSマウス用	COE-PC98(BUS)-2	SC-MN201XC
シリアルマウス用	COE-SERIAL-2	SC-MS201XC

ご注意
- ●接続する前に、接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。
- ●プロジェクターおよびコンピュータの電源をOFF（切）にして、接続してください。
コンピュータの電源を入れたままマウスケーブルの抜き差しを行うと故障の原因になります。
接続には、付属のマウスケーブルまたは別売のマウスケーブルを使用してください。
- ●トラックボールなどのポインティングデバイスを内蔵するノートタイプのコンピュータでは、外部マウスに設定しても、内蔵ポインティングデバイスが優先され、外部マウスが選択されない場合があります。
この場合は、内蔵ポインティングデバイスを無効とし、外部マウスを選択するように、BIOSの設定（システムのセットアップ）を変更してください。
BIOSの設定を変更した後、上記の（1）～（5）の操作を行ってください。
BIOSの設定については、コンピュータのハードウェアマニュアルをご参照ください。

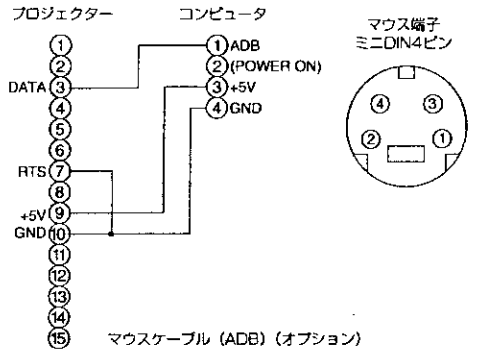
また、コンピュータによってはユーティリティプログラムが無いとマウスが動かない機種があります。
コンピュータのハードウェアマニュアルをご参照ください。

CONTROL信号端子への接続（つづき）

CONTROL信号端子

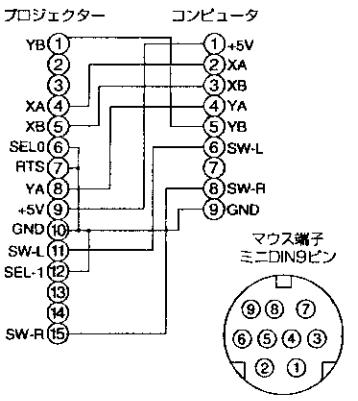
ピンNO.	RS-232C	マウス			
		PS/2	ADB	Serial	BUS
1					YB
2		CLK			
3		DATA	DATA		
4					XA
5					XB
6	SELO	SELO		SELO	SELO
7	RTS	RTS	RTS	RTS	RTS
8					YA
9		+5V	+5V		+5V
10	GND	GND	GND	GND	GND
11					SW-L
12					SEL-1
13	RD				
14	TD			TD	
15					SW-R

ADB（Mac）マウス



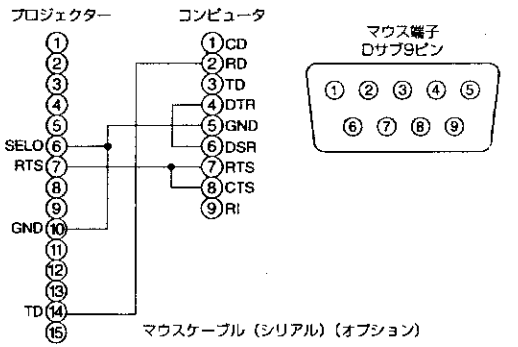
マウスケーブル（ADB）（オプション）

バスマウス



マウスケーブル（バス）（オプション）

シリアルマウス

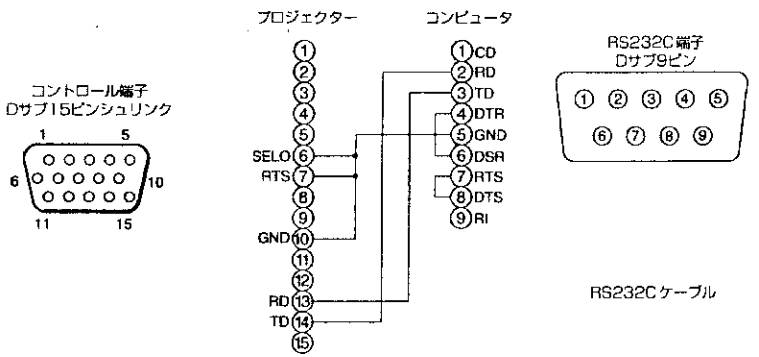


マウスケーブル（シリアル）（オプション）

CONTROL信号端子への接続（つづき）

2. RS232C通信

(1) プロジェクターとコンピュータの電源をOFF（切）にして、同梱のRS232Cケーブルで接続します。
(2) コンピュータの電源を入れ、コンピュータが立ち上がった後に、プロジェクターの電源を入れます。
(3) 20、21ページを参照して、COM.SPEEDとCOM.BITSの設定を行ってください。
(4) RS232C通信を開始します。



コマンド	プロジェクター→コンピュータ			コンピューター→プロジェクター				
	回答コード			質問コード		設定コード			デフォルト設定コード	
	1st	2nd	data	1st	2nd	1st	2nd	data	1st	2nd
MOUSE	11h	05h	+1	20h	05h	31h	05h	+1	40h	05h
COMMUNICATE	11h	06h	+1	20h	06h	31h	06h	+1	40h	06h
POWER	11h	11h	+1	20h	11h	31h	11h	+1	—	
ZOOM	11h	12h	+1	—		31h	12h	+1	—	
FOCUS	11h	13h	+1	—		31h	13h	+1	—	
MIRROR	11h	14h	+1	20h	14h	31h	14h	+1	40h	14h
INPUT	11h	21h	+1	20h	21h	31h	21h	+1	40h	21h
(VIDEO)SYSTEM	12h	22h	+2	20h	22h	32h	22h	+2	40h	22h
VOLUME	11h	23h	+1	20h	23h	31h	23h	+1	40h	23h
MUTE	11h	24h	+1	20h	24h	31h	24h	+1	40h	24h
BRIGHT	13h	31h	+3	20h	31h	33h	31h	+3	40h	31h
CONTRAST	13h	32h	+3	20h	32h	33h	32h	+3	40h	32h
COLOR	13h	33h	+3	20h	33h	33h	33h	+3	40h	33h
TINT	13h	34h	+3	20h	34h	33h	34h	+3	40h	34h
SHARPNESS	13h	35h	+3	20h	35h	33h	35h	+3	40h	35h
H.PHASE	13h	37h	+3	20h	37h	33h	37h	+3	40h	37h
H.POSIT	14h	38h	+4	—		34h	38h	+4	40h	38h
H.SIZE	14h	36h	+4	—		34h	36h	+4	40h	36h
V.POSIT	14h	3Ah	+4	—		34h	3Ah	+4	40h	3Ah
COLOR BALANCE R	13h	3Bh	+3	20h	3Bh	33h	3Bh	+3	40h	3Bh
COLOR BALANCE B	13h	3Dh	+3	20h	3Dh	33h	3Dh	+3	40h	3Dh
AUTO ADJUST	11h	3Ch	+1	20h	3Ch	31h	3Ch	+1	40h	3Ch
BLANK	11h	41h	+1	20h	41h	31h	41h	+1	40h	41h
MAGNIFY	11h	15h	+1	20h	15h	31h	15h	+1	40h	15h
FREEZE	11h	16h	+1	20h	16h	31h	16h	+1	40h	16h

CONTROL信号端子への接続（つづき）

コマンドデータ表

Item	Data code
MOUSE	00h=マウス機能停止、01~7Fh=マウス機能開始
COMMUNICATE	0Xh=8N1、1Xh=7N1 X0h=1200bps, X1h=2400bps, X2h=4800bps, X3h=9600bps, X4h=19200bps
POWER	3Eh=パワーオフ（スタンバイ状態）、3Fh=パワーオン
ZOOM	01～3Fh=Zoom+, 41～7Fh=Zoom-
FOCUS	01～3Fh=Focus+, 41～7Fh=Focus-
MIRROR	00h=Normal, 01h=H : Invert, 02h=V : Invert, 03h=H & V : Invert
INPUT	11h=VIDEO, 21h=RGB1, 22h=RGB2
SYSTEM (VIDEO)	00h 00h=Auto, 00h 01h=NTSC, 00h 04h=NTSC4.43 00h 02h=PAL, 00h 03h=SECAM, 00h 05h=M-PAL, 00h 06h=N-PAL
VOLUME	00h（音量小さい）~24h（音量大きい）
MUTE	00h=ミュートオフ, 01h=ミュートオン
BRIGHT	00h 00h 00h（暗い）~00h 00h 24h（明るい）
CONTRAST	00h 00h 00h（弱い）~00h 00h 24h（強い）
COLOR	00h 00h 00h（淡い）~00h 00h 24h（濃い）
TINT	00h 00h 00h（赤っぽい）~00h 00h 24h（緑っぽい）
SHARPNESS	00h 00h 00h（やわらかい）~00h 00h 24h（くっきりする）
H.PHASE	00h 00h 00h~00h 00h 24h
H.POSIT	00h 00h 00h 01h（右）1ステップ移動 00h 00h 00h 7Fh（左）1ステップ移動
H.SIZE	00h 00h 00h 01h（大）2ステップ移動 00h 00h 00h 7Fh（小）2ステップ移動
V.POSIT	00h 00h 00h 01h（上）1ステップ移動 00h 00h 00h 7Fh（下）1ステップ移動
COLOR BALANCE R	00h 00h 00h（赤色薄い）~00h 00h 24h（赤色濃い）
COLOR BALANCE B	00h 00h 00h（青色薄い）~00h 00h 24h（青色濃い）
AUTO ADJUST	00h（オートアジャスト実行）, 07h（オートアジャスト停止）
BLANK	0Xh=ブランキングオフ, 1Xh=ブランキングオン X=8 黒, X=9 青, X=F 白
MAGNIFY	00h=通常表示 01h=拡大表示または拡大率UP 7Fh=拡大率DOWN
FREEZE	00h=通常表示、01h=静止画表示

コマンドコードは2バイト命令とそれに続くデータから構成されます。

- 命令の1-stバイトはMSB側3ビットでコマンドの種類を、LSB側4ビットでデータ長を示します。

プロジェクター→コンピュータ	コンピューター→プロジェクター
'0xH'：エラーコード	'2xH'：質問コード
'1xH'：回答コード	'3xH'：設定コード
'70H'：フレームエラーコード	'4xH'：デフォルト設定コード

'x'はデータ長を示す。(例：x=2…2バイトの命令)

- コマンドコードの2-ndバイトがコマンドの内容を示します。

CONTROL信号端子への接続（つづき）

プロジェクターの状態を問い合わせる場合
(1) コンピュータから質問コード '20H'+'yyH' をプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは回答コード '1xH'+'yyH'+dataをコンピュータへ返します。

プロジェクターの設定を変更する場合
(1) コンピュータから質問コード '3xH'+'yyH'+dataをプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を変更します。
(3) プロジェクターは回答コード '1xH'+'yyH'+dataをコンピュータへ返します。

ご注意 (3) の回答dataは (1) の設定dataと等しいとは限りません。
例えば、プロジェクターが (1) の設定dataに設定できない場合、プロジェクターは近似値に設定し、その近似値を (3) 回答dataに使うことがあります。又は、プロジェクターはエラーコード '0xH'+'yyH'+dataを返します。

プロジェクターの設定をデフォルトにする場合
(1) コンピュータからデフォルト設定コード '40H'+'yyH' をプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターは指定された設定をデフォルトに変えます。
(3) プロジェクターは回答コード '1xH'+'yyH'+dataでデフォルト値を返します。

プロジェクターが送信されたコマンドを理解できない場合
(1) コンピュータからコマンドコード '2xH'、'3xH'または '4xH'+'yyH'+dataをプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターが送られたコマンドを理解できない場合は、エラーコマンド '00H'+'yyH' を返します。

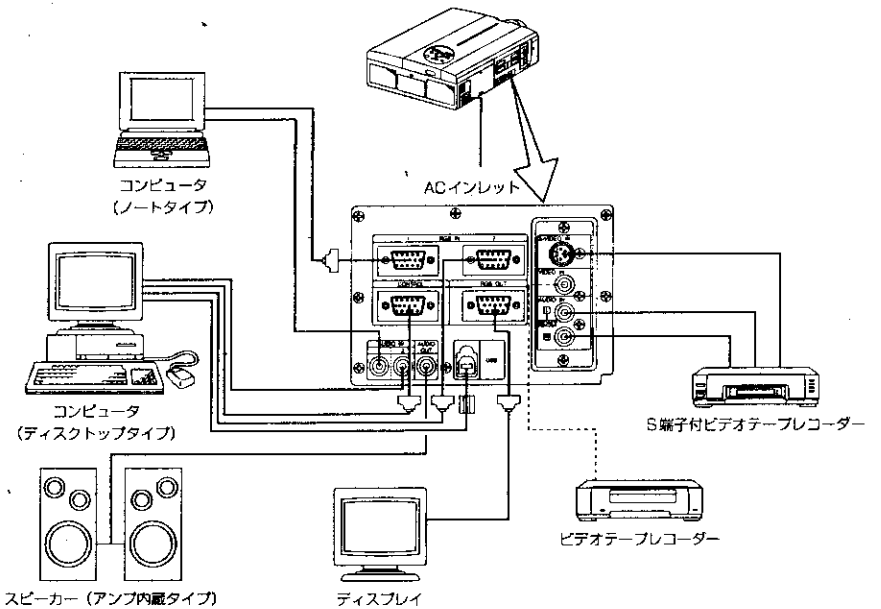
プロジェクターが送信されたデータを理解できない場合
(1) コンピュータからコマンドコード '2xH'、'3xH'または '4xH'+'yyH'+dataをプロジェクターに送ります。
(2) プロジェクターが送られたコマンドを理解できない場合は、データ付きのエラーコード'0xH'+'yyH'+dataをそのまま返します。
尚、必要なデータ符号長より長い場合、プロジェクターは余分のデータ符号を無視します。
逆に、必要なデータ符号長より短い場合、プロジェクターは本エラーコードを返します。

フレームエラーを起こした場合
エラーコード '70H'+'70H' を何らかの応答があるまで1秒間隔で10回まで返します。

1コマンド内のバイト間が500mS以上ある場合
コンピュータからコマンドコード '2xH'、'3xH'または '4xH' を送出後、500mS以内に命令やデータを送られない場合、500mSを越えた時点でエラーコマンド '70H'+'70H' を返します。そのとき、何らかの応答が1秒以内にない場合は、フレームエラーに準じます。

ご注意 ●プロジェクターが未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。
●回答コードと他のコードの間隔は40mS以上あけてください。

システムアップ例



ご注意 各機種の電源を切ってから接続してください。
接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものをお使いください。
接続にあたっては、各機種の取扱説明書をご覧ください。

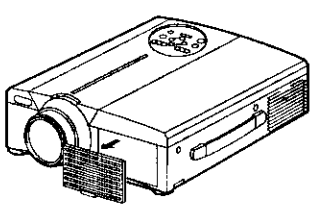
エアーフィルターのクリーニング

エアフィルターのクリーニングは、約100時間を目安に行ってください。
汚れが落ちなくなったり破損したときは、交換が必要です。販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

1 本体のMAIN POWERスイッチを切り、電源コードを抜く

2 前面のエアーフィルターを外す

フィルター	型　式
エアーフィルター	CP-S860J 001



エアーフィルターのクリーニング（つづき）

3 掃除機でフィルターを掃除する

4 エアーフィルターをはめる

ご注意 ほこりなどによりエアーフィルターがつまりますと、プロジェクター内部の温度上昇を防止するため、プロジェクターの電源を切ることがあります。
エアフィルターをはずしたままでのご使用はおやめください。

ランプについて

光源のランプには、寿命があります。
長時間使用しますと、映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりします。
そのままご使用いただきますと故障の原因にもなりますので新しいランプと交換ください。
ランプ交換の目安として、下記のインジケーター表示もしくは電源投入時のメッセージ表示をします。
このような時は新しいランプと取り替えが必要です。ランプの取り替えは、お買い求めの販売店または、サービス会社にお問い合わせください。

ご注意 LAMPインジケーターは、ランプ部が高温になったときにも赤色に点灯します。MAIN POWERスイッチを切り、しばらく（約20分）時間をおいて再度電源を入れてください。再度電源を入れてもLAMPインジケーターが赤色に点灯する時は販売店または、サービス会社にご連絡ください。

メッセージ一覧表

画面表示

画面に次のメッセージが表示されます。

CHANGE THE LAMP "CALL A MAINTENANCE PERSON"	ランプ使用累積時間がランプの寿命に近づいています。新しいランプと取り替えてください。ランプ交換時間を超過しますとランプが自動消灯します。 ＊1
"CHANGE THE LAMP" "CALL A MAINTENANCE PERSON" "THE POWER WILL TURN OFF AFTER * hr."	ランプ累積時間がランプ交換時間に近づいています。あと＊時間でランプが消灯します。早めに新しいランプと取り替えてください。 ＊1 ＊はランプ自動消灯までの残り時間を表します。
上記文字の点滅	ランプ累積時間がランプ交換時間を超過。点滅開始から約10分で自動的にランプが消灯します。新しいランプと取り替えてください。
NO INPUT IS DETECTED	信号が入力されていません。（参照ページ22、23）
SYNC IS OUT OF RANGE	現在の入力信号の水平または垂直周波数は本機では対応できません。（参照ページ23、24）

＊1 表示は3分で消えますが、再度電源を投入すると表示します。

メッセージ一覧表（つづき）

インジケーター表示

POWERインジケーター、LAMPインジケーター、TEMPインジケーターは、次のようなときに点灯あるいは点滅します。

POWER インジケーター	LAMP インジケーター	TEMP インジケーター	メッセージ	処置
オレンジ色の点灯	消灯	消灯	スタンバイ状態	――
緑色の点滅	消灯	消灯	ウォームアップ中	――
緑色の点灯	消灯	消灯	動作状態＊1	――
オレンジ色の点滅	消灯	消灯	クールダウン中	――
赤色の点灯	赤色の点灯	消灯	ランプが点灯しない＊2	しばらく（約20分）時間をおいて、再度電源を入れてください。それでもインジケーターが点灯する場合は、ランプの故障が考えられますので、新しいランプと交換してください。
赤色の点灯	赤色の点滅	消灯	ランプが挿入されていない、またはランプカバーが付いていない	ランプを奥までしっかりと挿入し、ランプカバーをねじで取り付ける。
赤色の点灯	消灯	赤色の点滅	冷却ファンが動かない	販売店にご相談ください。
赤色の点滅	赤色の点滅	消灯	ランプの累積時間がランプ交換時間を超過	販売店にご相談ください。

LAMPまたはTEMPインジケーターが点灯、点滅したときは、MAIN POWERスイッチを切ってから処置を行ってください。それでも異常があるときは販売店、またはサービス会社にご相談ください。

＊1 吸気ファンを停止させたりして、内部が熱くなると、冷却するために自動的に電源が切れます（インジケーターは消灯します）。その場合は、プロジェクターの電源をOFF（切）にし、セットを冷却させた後、再度プロジェクターの電源をON（入）するとランプが点灯します。それでもランプが消灯する場合は、販売店またはサービス会社にご連絡ください。

＊2 通風孔がふさがれて内部の温度が高温になると、保護のためランプが消灯してLAMPインジケーターが赤色に点灯することがあります。その場合には、MAIN POWERスイッチをOFF（切）にし、セットをしばらく（約20分）冷却させた後、再度電源をON（入）にしてください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、下記のことをもう一度お確かめください。それでも具合の悪い場合は、販売店にお問い合わせください。

このようなときは	よくある事例	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	●主電源が入っていない ●電源コードが抜けている	●MAIN POWERスイッチを入れてください。 ●電源コードをAC INに差し込んでください。	P.13 P.9
映像も音声も出ない	●入力切換の設定が異なっている ●信号が入力されていない	●本体またはリモコン送信機で設定してください。 ●正しく接続してください。	P.8,10,13,19 P.9,31
映像は出るが音声が出ない	●本機への配線が正しく接続されていない ●音量調整が最小になっている ●消音状態になっている ●P in Pオンで音声がVIDEOに切替っている	●正しく接続してください。 ●リモコンのVOLUME"+"を押すかメニュー画面を表示し、音量を調整してください。 ●MUTEボタンを押してください。 ●VOLUMEバーを表示して、音声入力を切替える	P.9,31 P.10,18 P.8,10 P.10
音声は出るが映像が出ない	●本機への配線が正しく接続されていない ●明るさ調整が（暗い）側いっぱいになっている ●レンズカバーが閉じている	●正しく接続してください。 ●MENUボタンでBRIGHTを選択し、▶キーを押してください。 ●レンズカバーを外してください	P.9,31 P.17 P.13
色がうすい 色あいが悪い	色の濃さ、色合い調整が正しく調整されていない	映像の調整を行ってください	P.18
画像が暗い	●明るさ、コントラスト調整が正しく調整されていない ●ランプの寿命が近い	●映像の調整を行ってください ●新しいランプと交換が必要です。	P.18 P.32
画像がぼやける	フォーカスかH PHASEが合っていない	フォーカスかH PHASEを調整してください	P.13,18
LAMPインジケーターが赤色の点灯	ランプ異常	しばらく（約20分）時間をおいて、再度電源を入れてください。	上記
TEMPインジケーターが赤色の点灯	内部が高温になっている	●通気孔をふさがないでください。 ●エアーフィルターを掃除してください。 ●周囲温度を35℃以下にしてください。	P.31,32

画面中に輝点や黒点が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

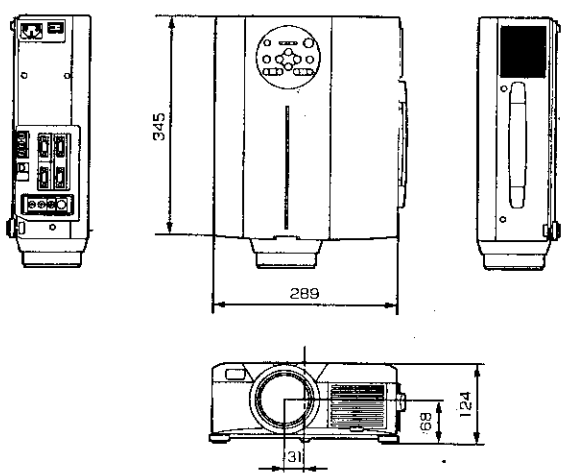
仕様

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
●この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみです。外国では使用できません。
This Liquid crystal projector set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

品名		液晶プロジェクター
形名		CP-S860J
表示方式		液晶パネル3枚3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ	3.3cm（1.3型）
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス
	画素数	480,000画素（水平600×垂直800）
レンズ		ズームレンズ F=1.7~2.3 f=49~64mm
ランプ		190W UHB
スピーカー		1.2W+1.2W（ステレオ）
電源		AC100V（50/60Hz）
消費電力		320W
使用温度範囲		0~35℃
外形寸法		幅 289 × 高さ 124 × 奥行 345mm
質量		5.9kg
VIDEO信号入力端子		S映像：ミニDIN4ピン端子 映像：RCA ジャック端子 音声：RCA ジャック端子
RGB信号入力／出力端子		RGB信号：D サブ15ピン シュリンク端子 音声：ステレオミニジャック（φ3.5）端子
CONTROL信号端子		D サブ15ピン シュリンク端子

寸法図

単位：mm



保証とアフターサービスについて

保証書について

この製品には、保証書が添付されていますので所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックをしてください。
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも具合の悪いときは、お買上げ販売店、またはサービス会社にご相談ください。

保証期間中の修理について

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
補修性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。